


がん教育実施報告書

学校名	会津美里町立高田中学校		
実施対象者 (学年・保護者など)	第2学年(2学級)		
教育課程の位置づけ	体育・保健体育	道徳	学級活動・HR活動 講演会・行事 その他()
実施日時	令和5年11月7日(火) 11:40~12:30		
打合せについて	【1回目】方法:メール	内容:打合せ日時について	
	【2回目】方法:来校	内容:授業内容について	
外部講師 職・氏名	職名	がんピアネットふくしま 理事	氏名 大内 直美
実施内容	<p>【めあて】</p> <p>がん患者やその家族の思いに共感し、支え合って生きていくことの大切さを理解するとともに、かけがえのない自他の生命を尊重することができるようにする。<D-(19)生命の尊さ></p> <p>【指導過程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保健体育科の学習内容を振り返る。(T1) 2 がんになるとどのような問題が起こるのか想像する。(T1) <ul style="list-style-type: none"> ・体の痛み、手術・入院費用、家族の世話、仕事への影響、外見上の変化、不安、死への恐怖などの考えが出された。 3 がん患者との共生について体験談から学ぶ。(GT) <ul style="list-style-type: none"> ・心のケア、チーム医療、自分らしい生き方、患者として望むこと、予防と検診の大切さについて体験談を聞き、人間の優しさと強さ、患者の痛みに対して心と動作で寄り添う大切さを感じ取った。 4 がん患者との共生について考えをまとめる。(T1) 		
成果等	<p>【生徒の感想】</p> <p>「患者さんに寄り添うためにまずは自分のがんについて理解することが大切。」「つらい経験を乗り越えて今ここにいる大内さんが本当にすごい。」「私たちの言動で生きる希望をもてる人がいることを考えながらこれからの生活を大事にしたい。」「いざがんになった時でも生きる希望をもちたい。」「がんになっても1人ではない。支えてくれる人がたくさんいることを知った。」</p> <p>【成果】</p> <p>がんの体験者から話を聞くことで、がんを身近な病気としてとらえ、共生の在り方について新たな気付きを得たり、生命尊重の心情を深めたりすることができた。</p>		